

喜界町

図書館だより

1月号

【通算 第247号】
2017（平成29）年1月1日発行

〒891-6201
喜界町大字赤連字樋口前30番地
TEL: 0997-65-0962
FAX: 0997-65-2523
e-mail: kikaillb@town.kikai.lg.jp

ブックスタート

図書館からの
プレゼント!

(コットンバッグ・絵本)



赤ちゃんとお保護者が絵本を介してゆっくり
心ふれあうひとときを持つきっかけづくりの
お手伝い。
★受け取りは0歳児のみ。図書館にて随時受付。



===

謹んで新春の

およろこびを申し上げます

===

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます
本年もどうぞよろしくお願い致します
平成29年 元旦

図書館職員一同



- ◇◇◇ 喜界島の年中行事から ◇◇◇ ～～ 年神様への気持ちをあらわす正月飾り・お供えについて ～～
- 正月行事は、幸せをもたらす年神様を「迎え・もてなし・見送る」ための行事である。きれいに掃除をした家に飾りものをしたり、くつろぐ場所を用意したりすることで、年神様への感謝の気持ちを表す。それが正月飾りである門松、しめ飾り（しめ縄：オウバリ）、砂まき、松の葉、鏡餅などである。
- 「門松」・・・年神様がおりてくる目印、案内役である。年の暮れに門のところに立て、年神様を待ち、元旦にお迎えした7日（地域によっては15日）にお帰りになるまで門で待っているのが門松といっている。
- 「しめ飾り（しめ縄）：オウバリ」・・・年神様をお迎えする神聖な場所を表し、不浄なものが入らないようにする役目がある。「しめ」には、「神様の占める場所」という意味があり、しめ縄にはいろいろな縁起ものを飾り付ける。島ではジョウ（門）の両側に三本の割木と、松の小枝と、枝葉の着いた青竹とを、新ワラの縄でゆわえ立て、竹は地に差し込み、割木は三脚を開き、それらを中心として白砂の山を作った。竹には、高さ2m程のところにシメ縄を張り、その中央に、炭・だいたい・裏白などを結びつけた。これをオウバリ、またはオウバイといっている。
- 「鏡餅」・・・鏡餅は、年神様へのお供えものであり、年神様が宿る場所といわれている。昔から鏡には神様が宿るとされているので、「鏡餅」とよぶようになり、丸い形は昔の鏡が丸形だったことに由来している。また、鏡は、「望月：もちづき」＝満月に通じて、円満を表し、大小二段に重ねるのは月と太陽（陰と陽）を表しているからだといわれている。さまざまな縁起ものを飾りづけ、床の間、神棚、台所、勉強机、道具棚、農具、漁具、大工道具など、年神様にいてほしい場所に供えるようにしている。

* その他、砂山と砂まき、盛砂の山などの由来については紙面の都合上割愛させていただきます。

【参考文献】：「和の行事を楽しむ絵本」三浦 康子著、「喜界島見てある記」町教育委員会、「喜界島の民俗」竹内 譲著

お知らせ

<喜界町図書館活動推進標語>
「本は家族の一員です！」

1/4(水)～8(日)まで、

【おみくじをひいて福を当てよう】イベントを開催

期間中は、おみくじを引いて景品を当てたり福袋に入っている本の貸し出しをしています。

5日(木)の資料休刊日を除き、7日(土)には、子どもには
【折り紙こま】をプレゼント!



午後2時からはお話会とミニ映画館、
3時から【折り紙こままわし大会】を行います。

(喜界高校の職場体験学習生作成)

「赤ちゃんおはなしかい」

日時： 毎月第一金曜日 午前11:00より
0～2歳児の赤ちゃんとお保護者に読み聞かせや手あそび
などをして楽しんでいます。気軽に参加してください!

2016年の年間ベストセラー

1位 天才 石原慎太郎著

2位 おやすみ、ロジャー
カール・ヨハン・エリー著

3位 ハリー・ポッターと呪いの子
第1部・第2部 特別リハーサル版
J. K. ローリング著

～おねがい～

貸出しカードの名前・住所・電話番号などが
変更になったときは、図書館職員にお声を
かけてください。

～ 大活字本の新刊本 ～

☆ 剣鬼 上下
柴田 錬三郎 著

☆ 漱石夫人は占い好き
半藤 末利子 著

～本が未返却の方へ～

あなたが持っている本を読みたいと思っている人が
います。図書館も困っています。

早めの返却をお願いいたします。